

労働大臣賞（入選）  
**ジャケットの縫製**  
 - 組み合わせ教材 -

テクノセンタータ陽丘 明石 衛  
 （大阪府立夕陽丘女子高等職業技術専門学校）

1. はじめに

テクノセンタータ陽丘（大阪府立夕陽丘女子高等職業技術専門学校）の服飾系科目洋裁科は、現在、平成12年の服飾科（仮称）開設に向けて、教科編成基準に沿って、教科名や教科の細目を検討しているところで、それに伴い教材を開発する必要がある。

今回、教材コンクールに出品した作品、ジャケットの縫製（組み合わせ教材）は、私が以前からまとめたいと考えていたもので、縫製仕様書から完成見本までの一連の教材からなる。この分野の教材は、ほとんどないので、機会あるごとに準備していたものを、このたびまとめましたもので、表1のような目的で使用するが、すでに取り入れられる部分から訓練に導入している。

2. 教材作成の構想と過程

平成2年度の教材コンクールにおいて「タイトスカートの縫製」で入選したときから、今度は「ジャケットの縫製」で出品したいと考え、すぐに構想を練った。計画に従って専門研修に行き、資料の作成にとりかかることになる。当校に機器のないものについては、機器のあるところに行き、自主研修で資料の作成に努めた。また、アパレル系の指導員間で行っている研究会で、専門研修成果についての結果を報告した。さらに、能力開発課研究開発班主催の教材活用についての懇談会で、事例発表をした。

その後、教材コンクール出品にあたり、下記のように一連の教材としてまとめた。このような過程を経て、今回、平成10年度職業訓練教材コンクールにおいて労働大臣賞（入選）をいただくことができた。

3. 教材の概要と使用目的

ジャケットの縫製（組み合わせ教材）の概要は、  
 縫製仕様書  
 グレーディングパターン  
 マーキング図  
 工程分析表  
 縫製工程写真  
 部分縫い見本（衿・袖）  
 完成見本（ジャケット）

表1 教材の使用目的

教材名	訓練の種類		時間数 (45分)	使用対象者
	教科の科目	教科の細目		
1. 縫製仕様書	商品企画 基本実習	商品企画	8	普通訓練 1年課程 (服飾系生徒)
2. グレーディング パターン	服飾製図実習	グレーディング	8	"
3. マーキング図	服飾製図実習	マーキング	8	"
4. 工程分析表	工程分析	ジャケット	4	"
5. 縫製工程写真	工程分析	ジャケット	4	"
6. 部分縫い見本 (衿・袖)	縫製基本実習	部分縫い	40	"
7. 完成見本 (ジャケット)	縫製実習	総合縫製	78	"

からなる。

専攻実技の科目にある縫製実習の細目の総合縫製で使用する目的で作成したが、表1に示すとおり、他の教科との関連もある。

#### 4. 教材の教育効果と創意工夫

今回の教材は、教育効果を高めるために、図や写真、現物見本の良いところを取り入れた組み合わせ教材としたが、教材別に教育効果と創意工夫したところを下記の順にまとめてみた。

\* ( ) 内に創意工夫したところを記す。

##### (1) 縫製仕様書(図1)

ジャケットの仕様書を作成することで、企画の全体を把握させることができる。また、企業で実務に就いた際、すぐに活用できる。

(ジャケットの縫製仕様書のみを考えて、むだな

ものを省いた様式作りを心がけた。見やすさ、使いやすさに重点をおいた紙のサイズ、レイアウトにした)。

##### (2) グレーディングパターン

CADを使用し、一定のグレーディングルールに従ってマスターパターンを拡大縮小する。5号から17号までサイズ展開を行うが、早く正確に作業できるようにになる。

(多様なサイズに対応できるように、5号から17号までの7サイズを展開した。外袖と内袖のつながりに注意し、脇はシェイプがきれいに出るよう心がけた)。

##### (3) マーキング図(図2, 図3)

アパレル業界の多くは、CADを使用し表地や裏地の用尺を検討しているが、授業で用尺の検討を行うことにより、生徒にコスト意識を身につけさせる

材料	品名	仕様	用途	納期	製法	品番
生地	表生地	150cm幅×	毛 100%	170cm		
生地	裏生地	150cm幅×	毛 100%			
生地	裏地	AK-181 80cm幅×	キュプラ 100%	180cm		
糸	前巻縫	2.2cm	4個			
糸	明巻縫	1.5cm	4個			
裏	開付	BR-164K	厚み 1.5cm	1個		
裏	巾着紐	UY-104		1個		
縫	仕立	立 方	種代種			
縫	裏仕立	裏なし (創意)	半裏・袖裏なし・リバーシブル			
縫	袖付け	縫い繋ぎ	はさみ付け・見返し	1.8cm		
縫	袖付け	縫い繋ぎ	片側し・ロック	1.8cm		
縫	脇	縫い繋ぎ	片側し・ロック	1.2cm		
縫	肩	縫い繋ぎ	片側し・ロック	1.2cm		
縫	切替え	縫い繋ぎ	片側し・ロック	cm		
縫	袖下	縫い繋ぎ	片側し・ロック	1.2cm		
縫	袖口	ロックでスタイ・三ツ折り (仮仕立)		cm		
縫	裾	ロックでスタイ・三ツ折り (仮仕立)	ベルト付	cm		
縫	扣	馬目穴	横着取り穴・縦り穴・反ホール	2.6cm		
縫	前身頃	RS105	袖芯	RO07		
縫	見返し	*	表身	RS105		
縫	脇身	*	地身	*		
縫	後身	RO07	袖端	SX33		
縫	後身	*				
縫	前襟	STR-15	縫い	STR-12	縫い	STR-10
縫	縫い	STR-12	縫い	5800		

種別	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	15号	16号	17号
身長	155cm	158cm	160cm	163cm	165cm	168cm	170cm	173cm	175cm	178cm	180cm	183cm	185cm	188cm	190cm
胸囲	85cm	88cm	90cm	93cm	95cm	98cm	100cm	103cm	105cm	108cm	110cm	113cm	115cm	118cm	120cm
肩幅	42cm	43cm	44cm	45cm	46cm	47cm	48cm	49cm	50cm	51cm	52cm	53cm	54cm	55cm	56cm
着丈	68cm	69cm	70cm	71cm	72cm	73cm	74cm	75cm	76cm	77cm	78cm	79cm	80cm	81cm	82cm
袖丈	57cm	58cm	59cm	60cm	61cm	62cm	63cm	64cm	65cm	66cm	67cm	68cm	69cm	70cm	71cm
袖幅	19cm	19.5cm	20cm	20.5cm	21cm	21.5cm	22cm	22.5cm	23cm	23.5cm	24cm	24.5cm	25cm	25.5cm	26cm

図1 縫製仕様書

ことができる。

(マーキング図は、表地は一方方向と差し込み、裏地については差し込みを、それぞれインクの色を変え7サイズ用意した。これを授業で使用すれば、すぐに裁断にかかれ、裁断ミスも少なくなる)

#### (4) 工程分析表(図4)

工程分析表を作成させることにより、全体の流れを理解させることができる。また、量産を意識して工程を考えさせることにより、実践的な物作りを身につけさせることができる。

(JIS記号を使用した工程分析表で、見る人が見やすいように、また、縫う人が縫いやすいように工程を考えた。工程に注釈をつけてその工程の持つ意味をよりわかりやすくした)

#### (5) 縫製工程写真(写真1~8)

工程分析表、工程写真を突き合わせて見せることにより、各作業のポイントを的確に理解させることができる。

(工程写真は、ジャケットの縫製の流れをわかりやすく追ってみた。写真の上には、そのパーツが何

であるかわかるようにし、写真の下には、工程を記し、工程分析表と突き合わせられるようにした)

#### (6) 部分縫い見本(衿・袖)

ジャケットの縫製で、衿や袖の部分縫い見本を見せることにより、工程分析表や工程写真で表現できないところを理解させることができる。

(衿は、衿の縫い方や縫いしろのカットの仕方などが、広げて見るようにしてあり、袖のほうは、明きの始末の仕方や、袖のぐしの入れ方などが、一見してわかるようにした)

#### (7) 完成見本

ジャケットのシルエットや全体のバランスを見ることが出来る。また、手で触れさせることにより仕上がり具合を感じさせることも出来る。

(婦人ジャケットなのでソフトに仕上がるような芯地使用にした。また、生徒がジャケットを縫う際の見本になるので、縫製仕様書に沿って忠実かつ正確に縫製した)

## 5. その他の自作教材の活用例

### (1) タイトスカートの縫製

工程分析表、工程写真、ビデオ、完成見本からなる組み合わせ教材。縫製実習のところで、総合縫製として活用している。ビデオは、全体の流れを理解

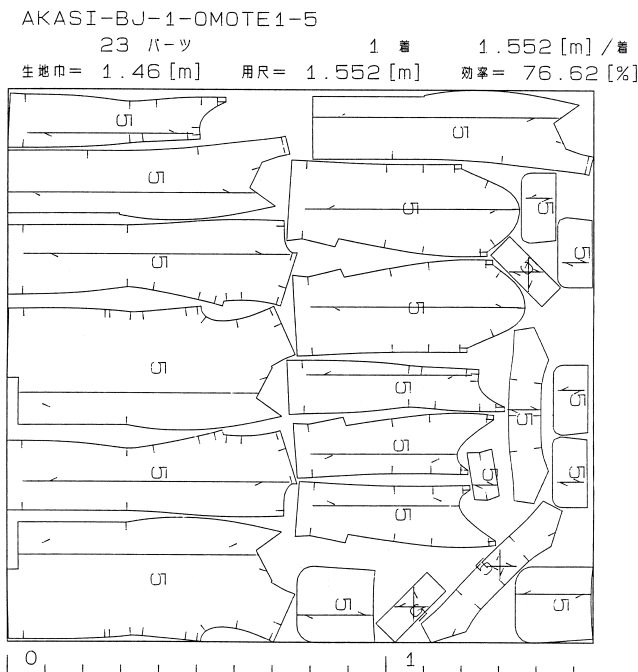


図2 表地のマーキング

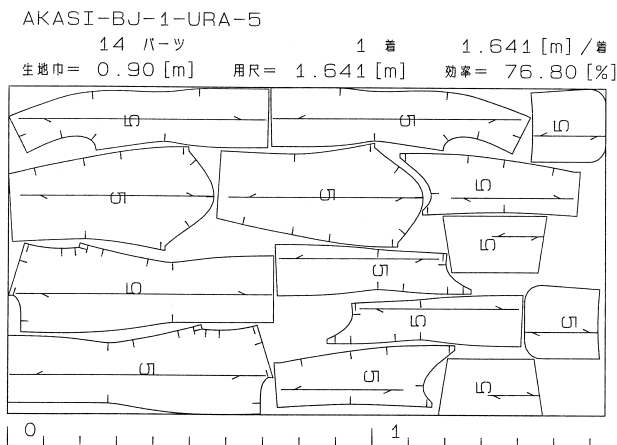


図3 裏地のマーキング

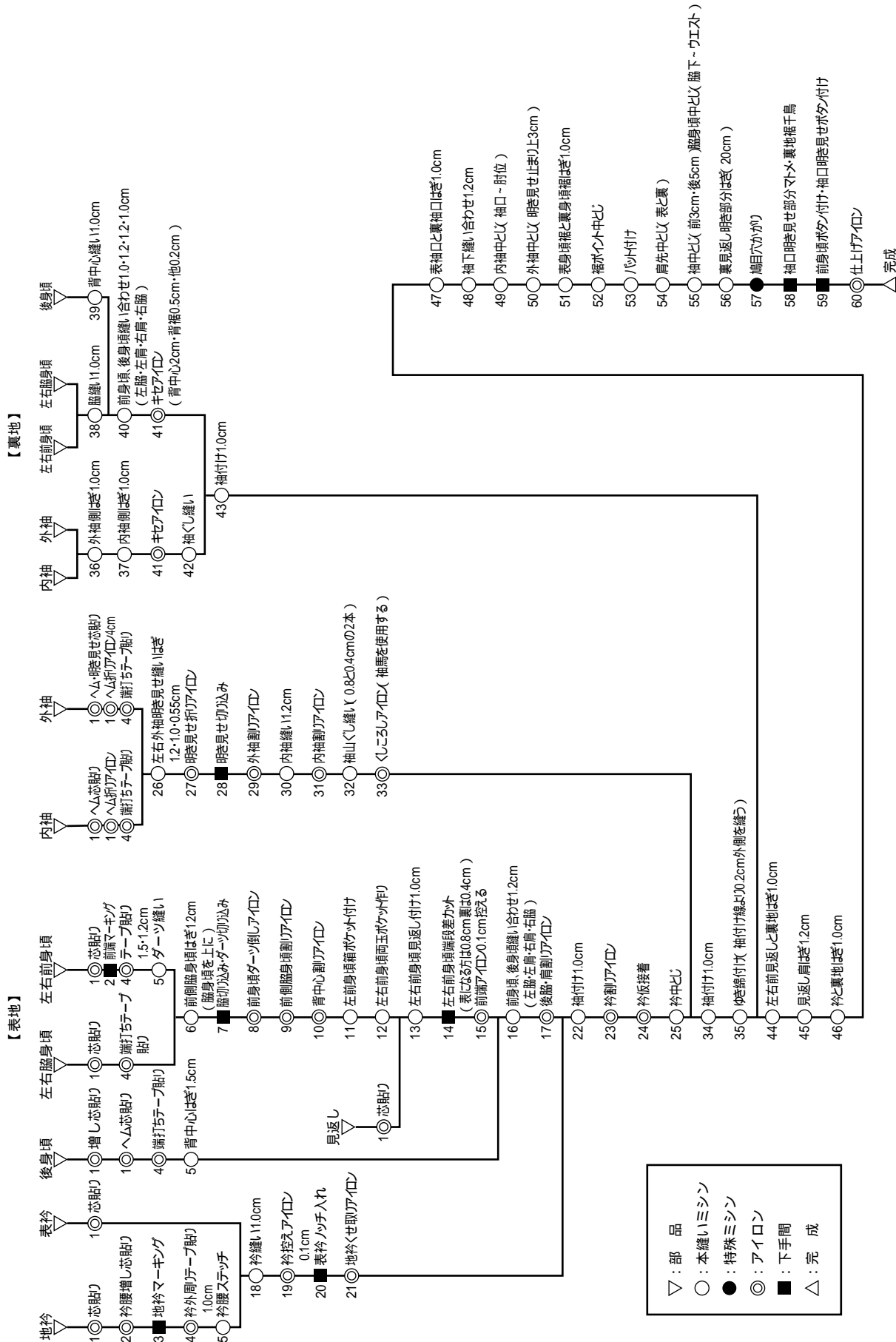


図 4 行程分析表

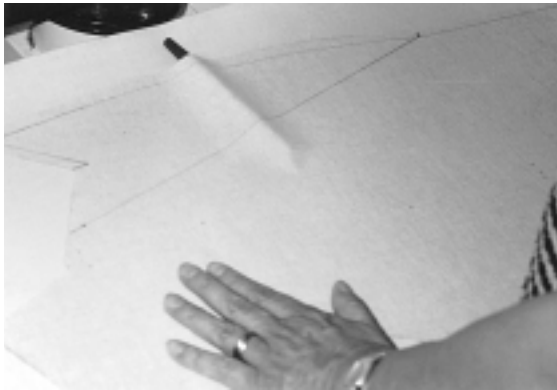


写真1 テープ貼り



写真3 衿地縫い

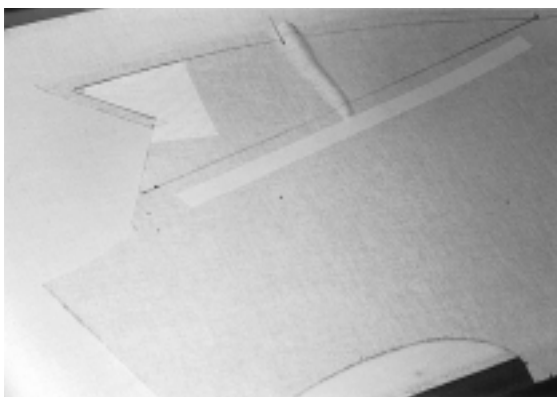


写真2 テープ貼り後



写真4 表衿ノッチ入れ

させる補完的な教材として活用している（ビデオ教材は、技術専門学校等14カ所に提供している）。

#### (2) ニット服の縫製

ニット素材・縫製ブックに「ニット服の縫製」について執筆したもので、B5判6枚のプリント教材。縫製の基礎知識として学科で活用している。

#### (3) 繊維の知識

プリント、サンプル、写真、パンフレット等からなる組み合わせ教材。縫製の基礎知識として学科で活用している。例えば、綿のところでは、綿の木になっている綿花を見せて興味を持たせている。

#### (4) パンツの縫製

グレーディングパターン、工程分析表、部分縫い見本、完成見本からなる組み合わせ教材。向上訓練で実施したものを授業に取り入れて、縫製実習のと

ころで、総合縫製として活用している。

#### (5) 裏なしジャケットの縫製

グレーディングパターン、工程分析表、部分縫い見本、完成見本からなる組み合わせ教材。向上訓練で実施したものを授業に取り入れて、縫製実習のところ

ころで、総合縫製として活用している。

上記の(4)、(5)の自作教材については、向上訓練で実施したものを講師の協力のもとで作成した教材。なお、向上訓練は、業界の第一人者に依頼しているので、新しい技術も入るし、その時々

## 6. おわりに

現在、私が教えている洋裁科は、新規中卒生と一般離転職者を対象にしている。それだけに若い人も



写真5 袖山ぐし縫い



写真7 ゆき綿付け後



写真6 袖ぐしころしアイロン



写真8 ジャケット完成

多いので、生活指導面でも気をつけている。

先日、新聞を読んでいたら、編集手帳欄に次のような言葉が紹介されていた。「人が生まれて両親の次につきあうことになる大人といえ、学校の先生だ。先生のひと言はだから時に人の一生を決めるほど重い」とか「たった一人でも自分を認めてくれる人がいる」という言葉があった。

前者については、先生と生徒との間に信頼関係が築けるかということだと思ふ。信頼関係ができていれば、先生の話を生徒が真剣に聞き、また、言うことも聞き、相談もしてくるであろう。それには、先生の仕事に対する取り組みや 姿勢が大切だと思ふ。指導する先生がいいかげんであれば、生徒もいいかげんになると思ふ。当たり前だが、先生が生徒の模範となる指導や、行いをしようという気持ちが大事だと思ふ。

後者については、よく休んでいた子が、クラスの友だちの励ましで、夏休み明けを機に、出て来るようになることがある。これも「一人でも自分を認めてくれる人がいる」ということだと思ふ。それが、時には先生であったり、生徒であったりの違いだけだと思ふ。

最後に、私の仕事は、毎日毎日の積み重ねの上に成り立っているが、決して私一人で養った技術ではなく、多くの人の温かい指導があればこそであり、これからも感謝の気持ちを忘れずに、日々この仕事に励みたいと思っている。

#### 引用文献

読売新聞，編集手帳欄，平成10年12月13日付け．